

eMAXIS 全世界株式インデックス

追加型投信／海外／株式／インデックス型



第8期（決算日：2018年1月26日）

作成対象期間

（2017年1月27日～2018年1月26日）

第8期末（2018年1月26日）	
基準価額	27,435円
純資産総額	8,008百万円
騰落率	22.8%
分配金合計	0円

受益者のみなさまへ

投資家のみなさまにはご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

eMAXIS 全世界株式インデックスは、このたび第8期の決算を行いました。

当ファンドは、MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（除く日本、円換算ベース）と連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

当期は、株式市況が好調であったことなどを背景に基準価額は上昇し、ベンチマークにも概ね連動しました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果をめざします。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記〈照会先〉ホームページにアクセスし、「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、ファンドの詳細ページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

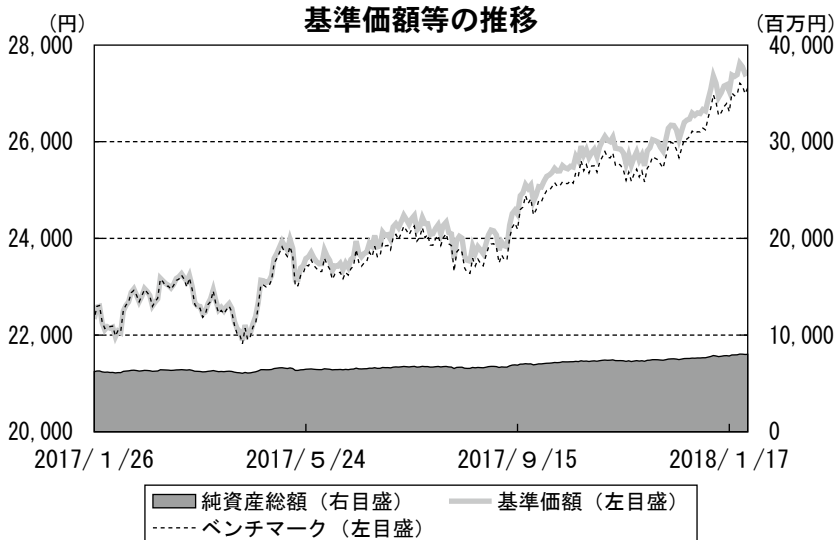
eMAXIS専用サイト <https://emaxis.jp/>

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第8期：2017/1/27～2018/1/26)

基準価額の動き	基準価額は期首に比べ22.8%の上昇となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(21.4%)を1.4%上回りました。



第8期首：22,333円
 第8期末：27,435円
 (既払分配金 0円)
 騰落率：22.8%

- ・ベンチマーク(ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標)は、MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(除く日本、円換算ベース)です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
- ・ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- ・上記指数は、配当相当分を含まないインデックスです。このためファンドとベンチマークの騰落率との差異には、ベンチマークが配当相当分を含まない指数であることよって生じる「配当金要因」が含まれている点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	原油市況が堅調であったことや、米国の堅調な企業決算内容や税制改革などが好感されて株式市況が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
------	---

1万口当たりの費用明細

(2017年1月27日～2018年1月26日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	158円	0.654%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(71)	(0.294)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(71)	(0.294)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(16)	(0.065)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.014	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	(2)	(0.009)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(先物・オプション)	(1)	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	5	0.023	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(5)	(0.022)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	11	0.044	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(10)	(0.040)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	177	0.735	
期中の平均基準価額は、24,139円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

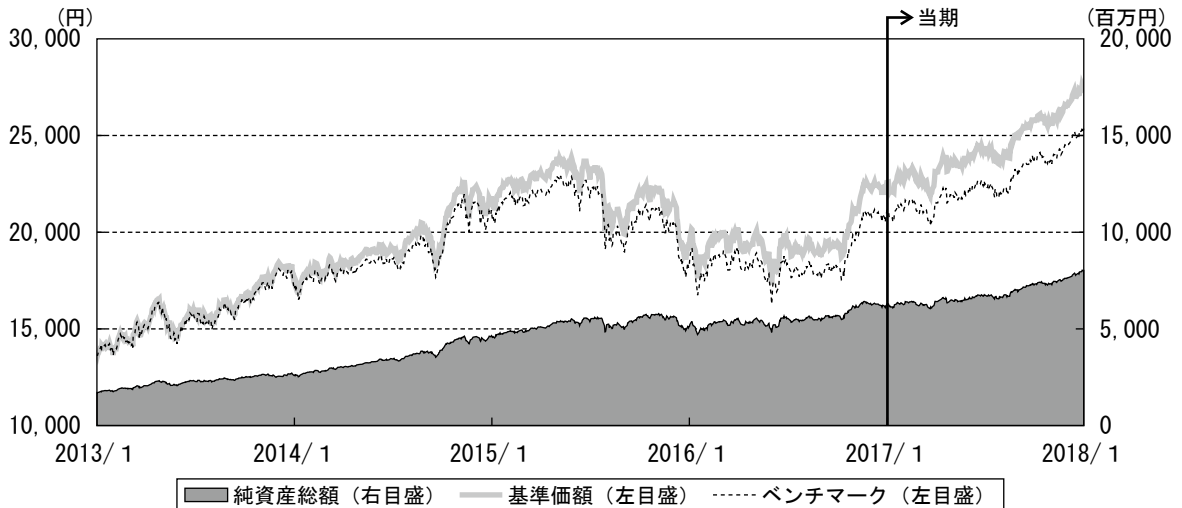
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年1月28日～2018年1月26日)



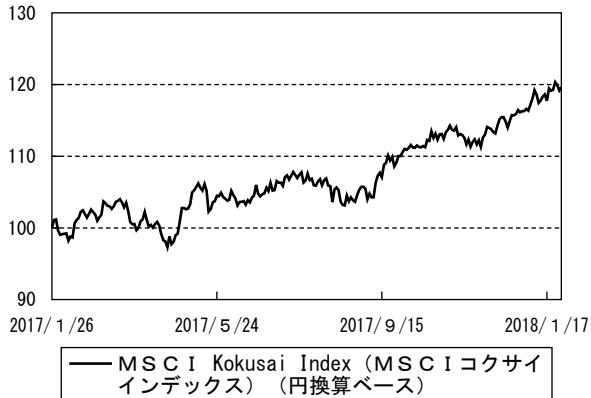
- ・ベンチマークは、2013年1月28日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2013/1/28 期初	2014/1/27 決算日	2015/1/26 決算日	2016/1/26 決算日	2017/1/26 決算日	2018/1/26 決算日
基準価額 (円)	13,735	17,429	21,598	19,074	22,333	27,435
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率	—	26.9%	23.9%	-11.7%	17.1%	22.8%
ベンチマーク騰落率	—	24.7%	22.1%	-13.2%	15.0%	21.4%
純資産総額 (百万円)	1,706	2,592	4,592	5,049	6,213	8,008

ベンチマークは、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス (除く日本、円換算ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

外国株式市況の推移
(期首を100として指数化)

(注) MSCI Kokusai Index (MSCI Global Index) とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI Kokusai Index (MSCI Global Index) (円換算ベース) は、MSCI Kokusai Index (米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Index (MSCI Global Index) に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(第8期：2017/1/27～2018/1/26)

◎外国株式市況

・米国の堅調な企業決算内容や税制改革などが好感され、外国株式市況は上昇しました。

◎為替市況

・為替市況は、期首に比べて3.0%の円高・米ドル安、11.8%の円安・ユーロ高となりました。

新興国株式市況の推移 (期首を100として指数化)



(注) MSCI エマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス (円換算ベース) は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

◎新興国株式市況

- ・原油価格の上昇や世界的な株式市況の上昇などを受けて、新興国株式市況は上昇しました。

◎為替市況

- ・為替市況は、期首に比べて3.8%の円高・香港ドル安、2.4%の円高・ブラジルリアル安となりました。

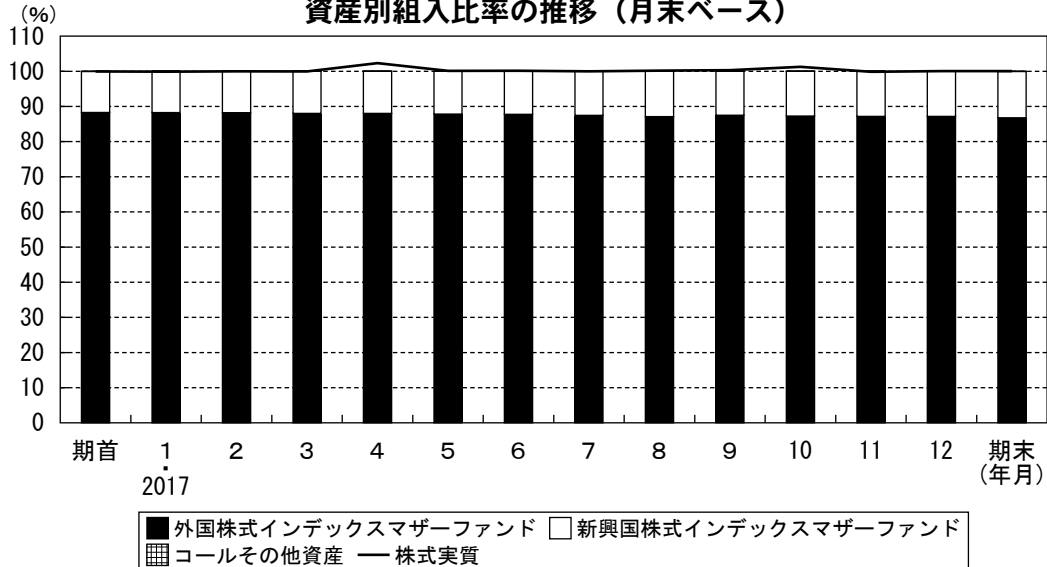
当該投資信託のポートフォリオについて

< eMAXIS 全世界株式インデックス >

- ・ 外国株式インデックスマザーファンド受益証券および新興国株式インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を除く先進国および新興国の株式等に実質的な投資を行い、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行いました。
- ・ 当期の資産配分の推移は以下の通りです。

(ご参考)

資産別組入比率の推移 (月末ベース)



<外国株式インデックスマザーファンド>

基準価額は期首に比べ21.9%の上昇となりました。

- ・ M S C I Kokusai Index (M S C I コクサイ インデックス) (円換算ベース) に採用されている株式 (先物・不動産投資信託証券 (R E I T) を含む) を主要投資対象とし、ベンチマークに連動する投資成果をめざして、運用を行いました。
- ・ 株式の国別比率、業種別比率などがベンチマークとほぼ同様になるようにマルチファクターモデルを用いてポートフォリオを構築しました。

(注) マルチファクターモデル

株式市場の構造 (動向) を、複数の要因 (業種・通貨・企業規模など) に分類し、高度な統計手法を用いて説明をするモデル

<新興国株式インデックスマザーファンド>

基準価額は期首に比べ37.0%の上昇となりました。

- ・ M S C I エマージング・マーケット・インデックス (円換算ベース) に採用されている新興国の株式等 (先物・R E I T を含む) を主要投資対象とし、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行いました。
- ・ 株式の国別比率、業種別比率などがベンチマークとほぼ同様になるようにマルチファクターモデルを用いてポートフォリオを構築しました。

(注) マルチファクターモデル

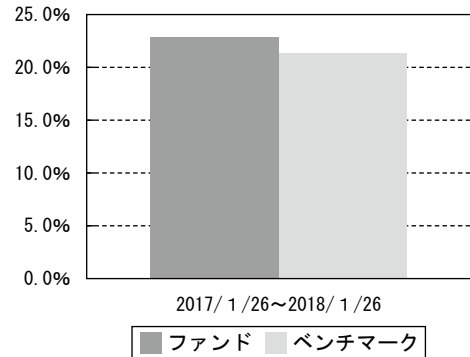
株式市場の構造 (動向) を、複数の要因 (業種・通貨・企業規模など) に分類し、高度な統計手法を用いて説明をするモデル

当該投資信託のベンチマークとの差異について

＜eMAXIS 全世界株式インデックス＞
 基準価額の騰落率は、22.8%の上昇となり、ベンチマークの21.4%の上昇を1.4%上回りました。
 差異の内訳は以下の通りです。

(内訳)	
外国株式インデックスマザーファンド	2.0%程度
新興国株式インデックスマザーファンド	0.3%程度
その他（信託報酬等）	△0.9%程度

基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



＜外国株式インデックスマザーファンド＞

ベンチマークは19.7%の上昇となったため、カイ離は2.2%程度となりました。

	組入比率要因	銘柄選択要因	その他の要因	合計
ベンチマークとのカイ離	0.0%程度	△0.1%程度	2.3%程度	2.2%程度

(注) 四捨五入などにより各要因を合算した値と合計が一致しないことがあります。

◎組入比率要因

組入比率による影響は0.0%程度でした。

- ・期中、ファンドの資産をほぼ全額株式（先物・REITを含む）に投資しました。
- ・効率的に運用を行うため、円貨、外貨現金などを若干保有しました。

◎銘柄選択要因

銘柄選択による影響は△0.1%程度でした。

ファンドとベンチマークの値動きや、推定トラッキングエラー、株式の国別比率、業種別比率などについてモニターし、必要に応じて定量モデルを用いた調整を図ることでベンチマークとの連動性を高めるよう努めました。その際に、ファンドがベンチマークと連動する可能性をより高めるため、

- ・売買に係るコストを考慮しつつ、できる限り多くの銘柄に分散投資を行いました。
- ・ファンドの特性をよりベンチマークに近づけるべく、マルチファクターモデルを用いて組入銘柄とその組入比率を決定しています。

◎その他の要因

その他の要因による影響は2.3%程度でした。

その他の要因としては、配当・利子収入、為替効果、売買コスト、保管料等による影響などが含まれます。

為替効果：現地通貨建て株価を円建てに換算する方法が、ファンドとベンチマークで異なるため生じる差異。

ファンド：株価（現地通貨建て前日終値）を翌日の対顧客電信売買相場の仲値を使い円に換算し評価。

ベンチマーク：株価（現地通貨建て前日終値）を同日ロンドン時間の16時時点の為替レートをを用い一旦ドル換算で評価。その後翌日の対顧客電信売買相場の仲値を使い円に換算し評価。

<新興国株式インデックスマザーファンド>

ベンチマークは34.4%の上昇となったため、カイ離は2.6%程度となりました。

	組入比率 要因	銘柄選択 要因	コスト 要因	その他の 要因	合計
ベンチマークとのカイ離	△0.2%程度	0.1%程度	△0.1%程度	2.8%程度	2.6%程度

(注) 四捨五入などにより各要因を合算した値と合計が一致しないことがあります。

◎組入比率要因

組入比率による影響は△0.2%程度でした。

- ・期中、ファンドの資産をほぼ全額株式（先物・REITを含む）に投資しました。
- ・効率的に運用を行うため、円貨、外貨現金などを若干保有しました。

◎銘柄選択要因

銘柄選択による影響は0.1%程度でした。

ファンドとベンチマークの値動きや、推定トラッキングエラー、株式の国別比率、業種別比率などについてモニターし、必要に応じて定量モデルを用いた調整を図ることでベンチマークとの連動性を高めるよう努めました。その際に、ファンドがベンチマークと連動する可能性をより高めるため、

- ・売買に係るコストを考慮しつつ、できる限り多くの銘柄に分散投資を行いました。
- ・ファンドの特性をよりベンチマークに近づけるべく、マルチファクターモデルを用いて組入銘柄とその組入比率を決定しています。

◎コスト要因

売買にかかるコストおよび保管料等による影響は△0.1%程度でした。

◎その他の要因

その他配当・利子収入等による影響は2.8%程度でした。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第8期
	2017年1月27日～2018年1月26日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	17,435

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

< eMAXIS 全世界株式インデックス >

- ・資産配分方針は、従前通り基本投資割合を維持します。また、各資産の組入比率は、期を通じて同比率に準ずるよう調整を行います。

< 外国株式インデックスマザーファンド >

- ・ファンドの資産のほぼ全額を株式（先物・REITを含む）に投資し、高い株式組入比率を維持します。
- ・売買に係るコストを考慮しつつ、多くの銘柄に分散投資を行います。

< 新興国株式インデックスマザーファンド >

- ・ファンドの資産のほぼ全額を株式（先物・REITを含む）に投資し、高い株式組入比率を維持します。
- ・売買に係るコストを考慮しつつ、多くの銘柄に分散投資を行います。

お知らせ

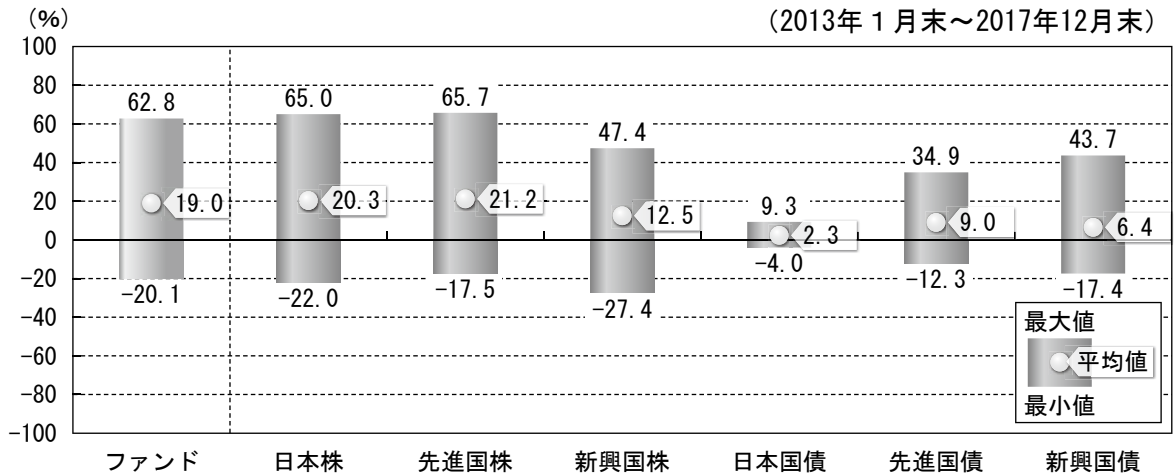
- ①よりわかりやすい記載を目的として目論見書の特色の分配方針に「分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）」を掲載しました。
- ②投資対象、運用目的、デリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的ならびに有価証券の貸付の指図および範囲について、該当する記載の整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。（2017年10月2日）
- ③当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。（変更前（旧）<http://www.am.mufg.jp/>→変更後（新）<https://www.am.mufg.jp/>）（2018年1月1日）
- ④2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（2010年7月20日設定）	
運用方針	<p>外国株式インデックスマザーファンド受益証券および新興国株式インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として対象インデックス（MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（除く日本、円換算ベース））に採用されている日本を除く先進国および新興国の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に実質的な投資を行い、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象インデックスの変動率に一致させることを目的とした運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>	
主要投資対象	当ファンド	外国株式インデックスマザーファンド受益証券および新興国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することがあります。
	外国株式インデックスマザーファンド	MSCI Kokusai Index（MSCIコクサイインデックス）（円換算ベース）に採用されている株式を主要投資対象とします。
	新興国株式インデックスマザーファンド	新興国の株式等を主要投資対象とします。
運用方法	日本を除く先進国および新興国の株式市場の値動きに連動する投資成果をめざします。	
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2013年1月から2017年12月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

- 日本株 : TOPIX (配当込み)
- 先進国株 : MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
- 新興国株 : MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
- 日本国債 : NOMURA-BPI (国債)
- 先進国債 : シティ世界国債インデックス (除く日本)
- 新興国債 : JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2018年1月26日現在)

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第8期末 2018年1月26日
外国株式インデックスマザーファンド	86.8%
新興国株式インデックスマザーファンド	13.2%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する各マザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第8期末 2018年1月26日
純資産総額	8,008,560,050円
受益権口数	2,919,095,223口
1万口当たり基準価額	27,435円

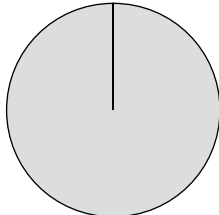
・当期中において
追加設定元本は788,170,724円
同解約元本は 651,386,929円です。

種別構成等

【資産別配分】

コール・ローン等

0.0%



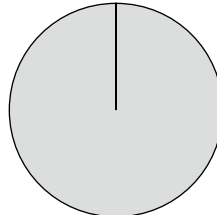
マザーファンド受益証券

100.0%

【国別配分】

その他

0.0%



日本

100.0%

【通貨別配分】

円

100.0%

- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

組入上位ファンドの概要

外国株式インデックスマザーファンド

(2017年5月12日現在)

基準価額の推移



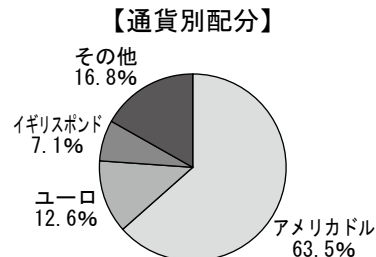
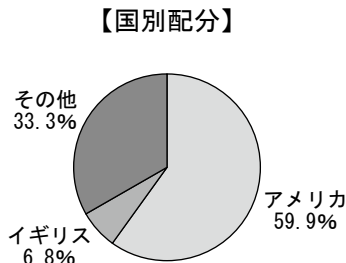
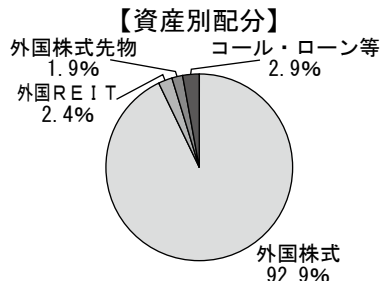
組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1,326銘柄)

順位	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	APPLE INC	株式	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.4%
2	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.5%
3	AMAZON.COM INC	株式	アメリカ	小売	1.1%
4	FACEBOOK INC-A	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.0%
5	EXXON MOBIL CORP	株式	アメリカ	エネルギー	1.0%
6	JOHNSON & JOHNSON	株式	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.0%
7	JPMORGAN CHASE & CO	株式	アメリカ	銀行	0.9%
8	ALPHABET INC-CL C	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.8%
9	ALPHABET INC-CL A	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.8%
10	WELLS FARGO & CO	株式	アメリカ	銀行	0.7%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・REITを含めて表示しております。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	4円	0.017%
(株式)	(2)	(0.011)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(1)	(0.006)
(b) 有価証券取引税	6	0.028
(株式)	(6)	(0.027)
(投資信託証券)	(0)	(0.001)
(c) その他費用	8	0.039
(保管費用)	(8)	(0.038)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	18	0.084

期中の平均基準価額は、21,222円です。

(2016年5月13日～2017年5月12日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

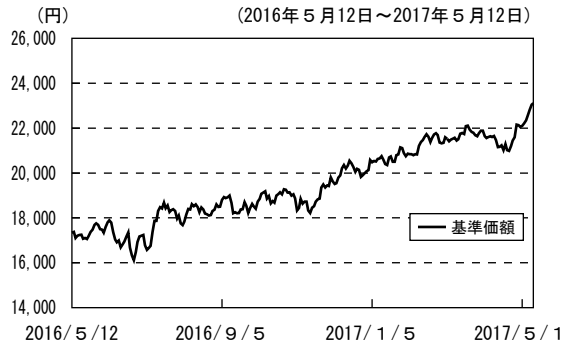
988364

組入上位ファンドの概要

新興国株式インデックスマザーファンド

(2017年5月12日現在)

基準価額の推移



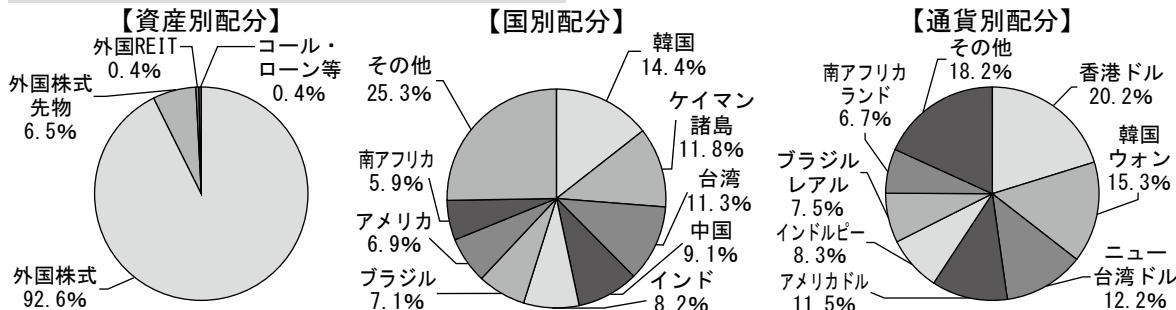
組入上位10銘柄

(組入銘柄数：833銘柄)

順位	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	株式	韓国	テク/ロジ・ハードウェアおよび機器	4.1%
2	TENCENT HOLDINGS LTD	株式	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	3.8%
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	株式	台湾	半導体・半導体製造装置	3.4%
4	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	株式	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	2.7%
5	NASPERS LTD-N SHS	株式	南アフリカ	メディア	1.8%
6	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	株式	中国	銀行	1.4%
7	CHINA MOBILE LTD	株式	香港	電気通信サービス	1.4%
8	HON HAI PRECISION INDUSTRY	株式	台湾	テク/ロジ・ハードウェアおよび機器	1.1%
9	BAIDU INC - SPON ADR	株式	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	1.0%
10	IND & COMM BK OF CHINA-H	株式	中国	銀行	1.0%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・R E I Tを含めて表示しています。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

(2016年5月13日～2017年5月12日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	5円	0.028%
(株式)	(4)	(0.020)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(2)	(0.008)
(b) 有価証券取引税	3	0.016
(株式)	(3)	(0.016)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	24	0.122
(保管費用)	(21)	(0.107)
(その他)	(3)	(0.015)
合計	32	0.166

期中の平均基準価額は、19,565円です。

(注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもです。費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

指数に関して

○ファンドのベンチマークである『MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（除く日本、円換算ベース）』について

MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（除く日本）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国・新興国の株式で構成されています。MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（除く日本、円換算ベース）は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（除く日本、米ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（除く日本）に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

シティ世界国債インデックス（除く日本）

シティ世界国債インデックス（除く日本）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信